

Symmetra® LX

タワー型UPS

Symmetra LX UPSで利用できるモデル：

200 V, 4-8 kVA	200 V, 4-16 kVA
208/240 V, 4-8 kVA	208/240 V, 4-16 kVA
220/230/240 V, 4-8 kVA	220/230/240 V, 4-16 kVA

安全と設置に関する重要な注意事項

Symmetra LXはデータセンタや可用性の高い用途向けの拡張性に優れた冗長UPSです。UPSはこのガイドの説明に沿って設置してください。

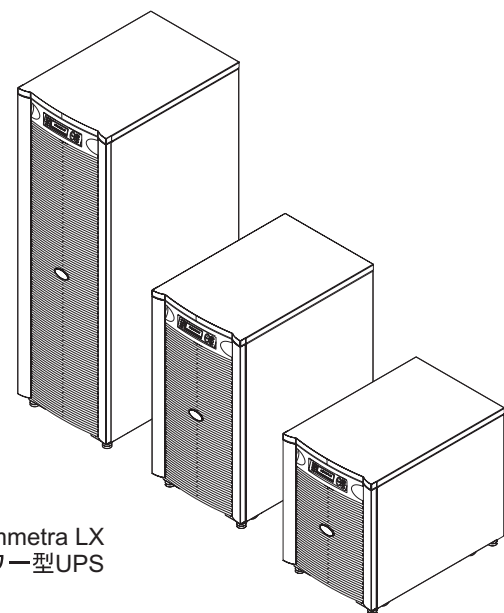
実際の構成には、オプションのSymmetra LX拡張バッテリーフレームが含まれる場合があります。

システムに同梱された製品マニュアルは大切に保管し、必要に応じて、設置、操作および保守に関する重要な注意事項を参照してください。

本文中の図は代表的な例を示しています。コンポーネントおよびオプションのAPC機器を含め、実際のSymmetra LXの構成内容は本ガイドに示すモデルと異なる場合があります。

Entire contents copyright 2005 by American Power Conversion Corporation. All rights reserved. 事前の許可なくして本書の一部または全部を複製することは禁じられています。

APC、APCロゴ、PowerChute、InfraStruXure、Smart-UPS、およびSymmetraは、American Power Conversion Corporationの登録商標です。その他の商標はすべて各社に帰属します。



Symmetra LX
タワー型UPS

設置



感電

『Symmetra® Lx安全に関する注意事項および一般的な情報ガイド』に目を通して内容を理解し、記載されたすべての安全に関する注意事項を遵守してください。安全に関する注意事項および警告を無視すると、機器の損傷や人体の重大な傷害、死亡事故に至る可能性があります。

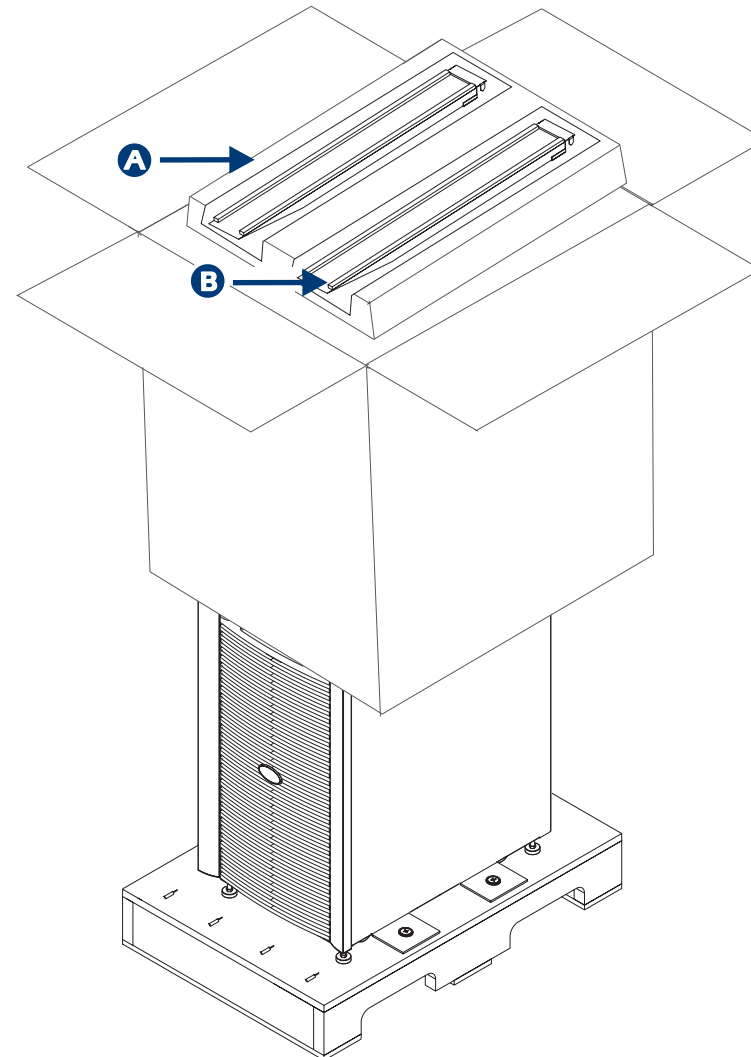
① 機器を開梱する



注

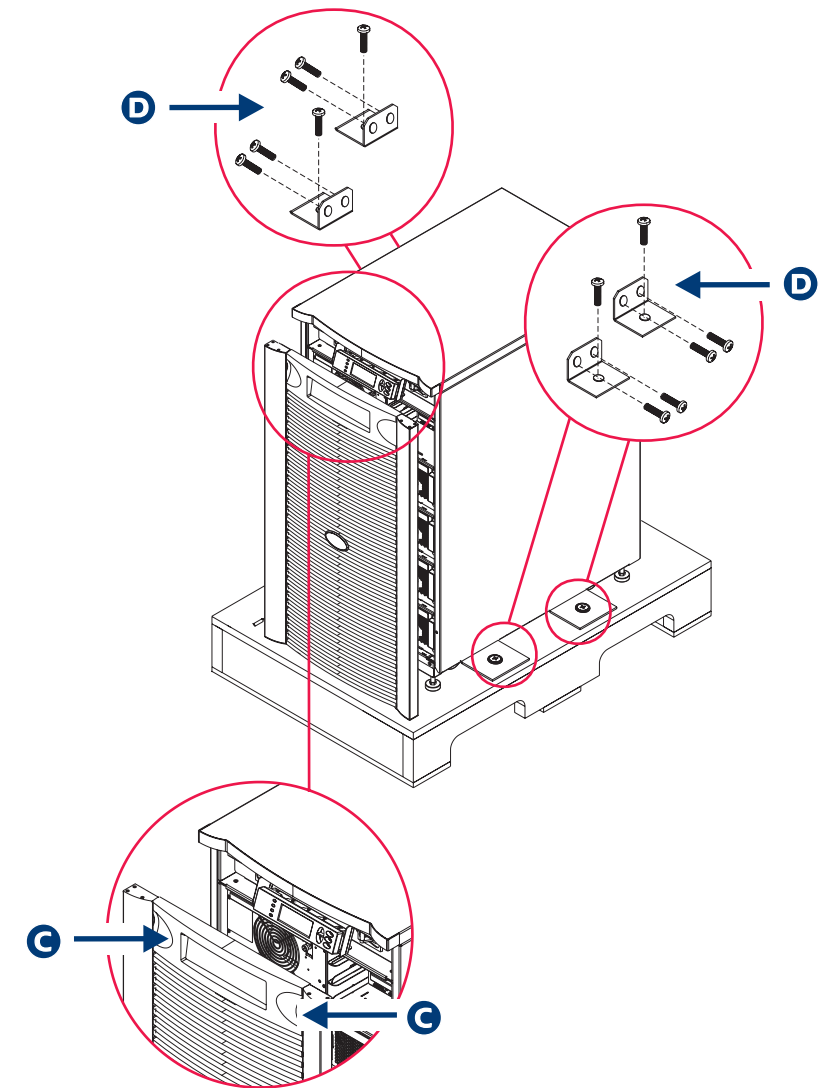
パレットを設置場所に移動する際には、フォークリフトを使用するとよいでしょう。

- 1.1 装置が入った段ボール箱の荷紐を外して開きます。
- 1.2 緩衝材 **A** およびパレットランプ（傾斜路） **B** を外します。
- 1.3 段ボール箱をパレットから外します。



② 扉および梱包ブラケットを取り外す

- 2.1 扉を取り外します。
 - タブ **C** を掴み、ゆっくりと前方に引き出してUPSのフレームから扉を緩め、持ち上げて取り外します。
- 2.2 パレットに装置を固定している4つの梱包用ブラケット **D** を取り外します。
 - 装置をフロアに固定する際にボルトと梱包ブラケットを再利用する場合は、保管しておいてください（手順3を参照）。



③ UPSを設置場所に移動する



注意

- UPSは重量があるため、動かすには2名の人員が必要です。
- マウント用安定器具は、パレットランプからUPSを離すまではパレットから浮いた状態にしておいてください。

- 3.1 機器をパレットから外します。
- マウント用安定器具 **E** がパレットから浮いていることを確認します。
 - パレットランプをパレットに取り付けます。パレットランプの金属製ブラケット **F** をパレット上の切り込み **G** に固定します。
 - 2名の人員がそれぞれ装置の片側に立ち、装置の前後をしっかりと持ちます。パレットランプ上を慎重に装置を押してフロアに降ろします。

3.2 機器を設置場所に移動します。

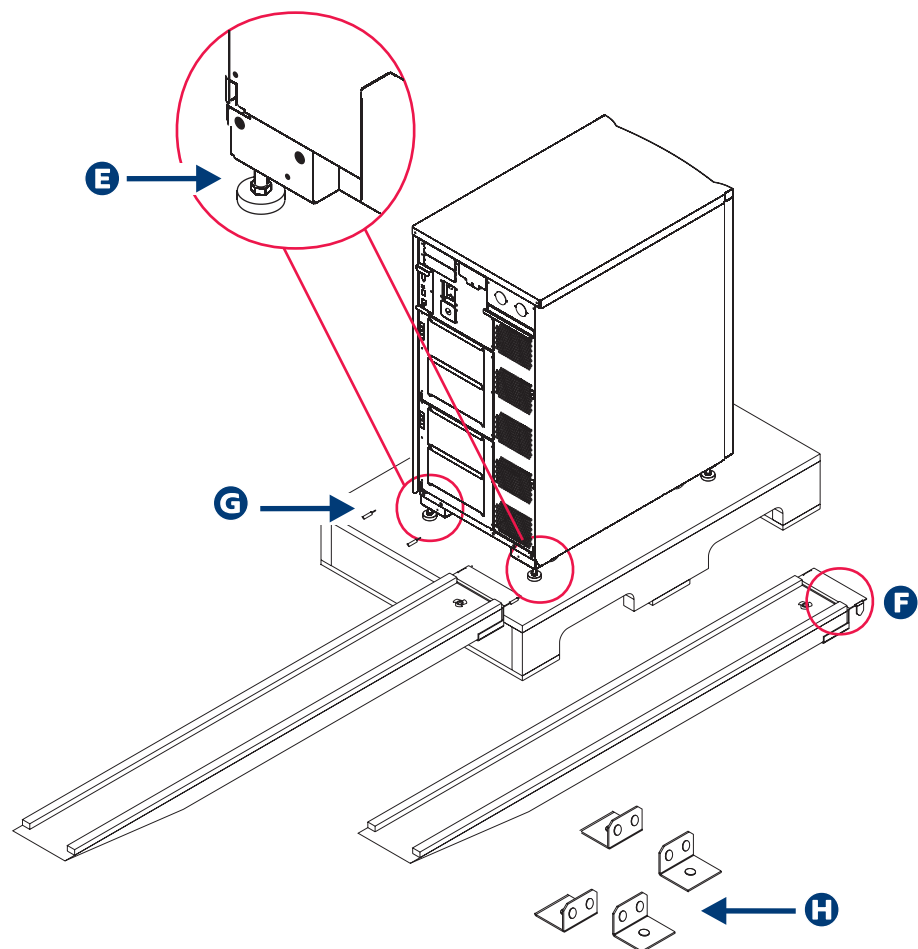
3.3 マウント用安定器具をフロアに降ろして装置を固定します。

3.4 オプションの耐震固定金具：4つの梱包ブラケット **H** およびボルトをフロアに取り付けて、装置をさらに固定することができます。



注

- UBCの計算には、コンクリートスラブに3"埋め込んだ直径3/8"のTruboltウェッジアンカーが必要です。
- この設置に関しては、適用される特定の要件の適切な規格を参照してください。

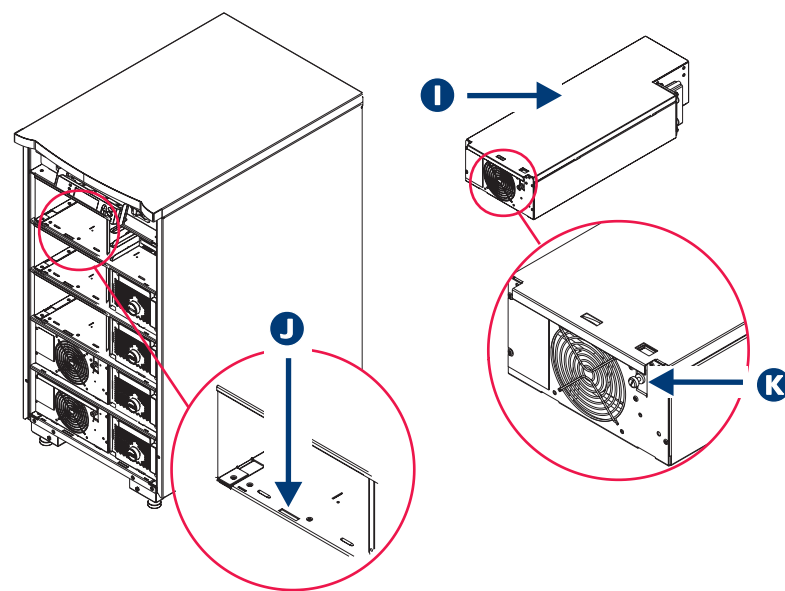


④ パワーモジュールを取り付ける (該当する場合)

構成内容によっては、パワーモジュールを適切なベイに取り付けます。

4.1 パワーモジュール **I** の前面が完全に安全止め **J** より後方に来るまで、フレーム内でスライドさせます。

4.2 ラッチを上にもスライドして、拘束ネジ **K** を締めます。



⑤ バッテリモジュールを取り付ける (該当する場合)



注意

バッテリーモジュールは相当な重量があります。このため、バッテリーモジュールの取り扱いには2名の人員が必要です。



注

バッテリーモジュールは、使用できる一番下の空ベイに取り付けます。それから、残りのモジュールを下から上に取り付けていきます。

5.1 バッテリモジュールの向きを確認します。各バッテリーモジュールは、B₁またはB₂のいずれかの位置に取り付けます。下記の **L** を参照してください。

■ B₁の場合、バッテリーモジュールのハンドルがモジュールの上と右側に来るようにしてください **M**。

■ B₂の場合、バッテリーモジュールのハンドルがモジュールの上と左側に来るようにしてください **N**。

5.2 バッテリモジュールの前面が安全止め **O** より後方に来るまで、バッテリーベイ内をスライドさせます。

5.3 各バッテリーモジュールが接続位置になっていることを確認してください。コインを使用してバッテリースイッチを反時計回りに回すとONの位置 **P** になります。

